

# エネルギー憲章条約(ECT)に関する公開書簡

2019年12月9日

欧州連合加盟国 各大臣、

欧州委員、

各国の議会および欧州議会の議員へ

私たちは、エネルギー憲章条約締約国の市民社会グループおよび労働組合として、エネルギー憲章条約の現状を憂慮しています。エネルギー憲章条約会議は来る2日間(2019年12月10-11日)ブリュッセルで年次会合を開催し、12月11日にはエネルギー憲章条約(ECT)の近代化についての最初の交渉を始めます。

私たち — 278の環境、気候、消費者、開発、貿易関連の市民社会グループおよび労働組合 — は、労働者および労組も参加して作成された移行政策であるパリ気候協定やその他の公共政策の実行と、ECTとは両立できないと信じています。ECTは今までも、そして今後も、化石燃料および原子力エネルギーに投資する私企業が、それらのエネルギー源を段階的に廃止しようとする国の決定に反対するために使われてきました。さらに、再生可能エネルギーや省エネへの優先的投資、エネルギー生産の公益に基づく管理政策、エネルギー貧困をなくすための政策の実行においてもECTは障害となっています。現在のECTはすでに時代遅れであり、公益に対する脅威となっています。

このような状況を憂慮し、私たちが気候変動や環境保護やエネルギー貧困撲滅のために行っている努力を、ECTがこれ以上邪魔し損なわないようにすることを要求します。また、ECTが締約国を増やして地域的に拡大することを阻止することも要求します。

ECTにはエネルギー輸送および貿易に関するものなど多くの条項が含まれていますが、私たちが特に懸念しているのは外国資本投資の保護です。エネルギー憲章条約下では、エネルギー事業に投資している外国人投資家は、ECT加盟国を、既存の裁判所ではなく、3人の民間弁護士から構成される国際法廷で直接訴えることができます。しかも現在のECTはその法廷の透明性を要求していません。これらの国際法廷において、投資家は政府の政策実行によって彼らが被った損害の補償と称して、非常に高額な補償金を公金から請求することができるわけです。

## ECTがなぜ問題なのか6つの理由を以下に掲げます。

**1** ECTは、化石燃料への投資とそのインフラを保護することにより、気候変動とその影響に立ち向かう社会の努力を弱体化しています。

2017年以来、英国の企業Rockhopperは、イタリア国内の海岸で新たに展開していた石油と天然ガスの操

業を禁止されことにより、最大で3億5000万ドルの被害を被ったとしてイタリアを訴えています。<sup>1</sup> 同じく2017年には、カナダ企業のVermilionは、フランスが化石燃料の採掘を終了するという法律を制定しようとした際に、フランスを提訴すると脅かしたため、法的拘束力は著しく弱体化しました。<sup>2</sup> 2019年秋には、ドイツ企業Uniperが、石炭火力発電所を段階的に廃止する法律をオランダが承認した場合、オランダを訴えて補償を請求すると発表しました。<sup>3</sup> このように、各国が気候ニュートラルやクリーンエネルギーに移行するための政策を推し進めている状況においては、今後さらにECT下での政府に対する訴訟が増えていく可能性は高くなります。これはいわゆる「規制への躊躇(レギュラトリーチル)」という問題で、政府は非常に高額な損害賠償請求を受ける可能性に直面するため、規制を作ること自体をためらったり、規制の弱体化を図ってしまうことを意味します。<sup>4</sup>

## 2 ECTは、公的予算と納税者の税金を計り知れないリスクにさらしています。

ECT下での民間法廷は、何十億という投資家への補償金を国家に支払わせることができ、しかもその補償金には、将来にわたる利益も失われたと仮定して計算された損失も含まれます。これは国家法またはEU法のもとではありえません。ところが、ECTのもとでは、国はすでに516億米ドル以上の損害賠償を公的予算から投資家に支払うように命じられるか、合意させられています。<sup>5</sup>

## 3 ECTは再生可能エネルギーの促進を脅かす可能性があります。

ECT下では、エネルギー源によって異なる政策を施行しようとするれば行政にリスクが生じます。<sup>6</sup> つまり、政府が再生可能エネルギーを優先するために急遽必要な政策措置をとろうとしても、炭素インテンシブ投資(化石燃料投資)のためにやめざるをえません。さらに、ECTは省エネへの投資も、エネルギー需要を削減する他の手段への投資も保護していません。<sup>7</sup>

## 4 ECTは環境保護政策を後退させてしまいます。

その一例として、スウェーデン企業Vattenfallは2009年から、ドイツの石炭火力発電所の環境基準に対して、14億ユーロの損害賠償をECT下で要求しています。当局者によると、多額の補償金が課せられる可能性のために、地方政府は環境規制を弱めることによって訴訟の解決をせざるを得ず、そのために工場が地元の河川とその付近に生息する野生生物に及ぼす環境への影響を悪化させることになりました。<sup>8</sup> ドイツに対するVattenfallのECT下での2つ目の訴訟は、福島原発事故後に原子力からの撤退を加速的に進めるとした政策に対して、その政策のために被った損失として61億ユーロの損害賠償を請求しています。<sup>9</sup> 他の例としては、2019年11月、オーストラリアのAura Energyが、環境と健康への影響を考慮してウラン採鉱を禁止するというスウェーデンの2018年の決定に対して、ECT下で争うことをスウェーデンに通知しました。<sup>10</sup>

## 5 ECTは、エネルギーを手頃な価格に設定し、公共の管理下に置くという政策を非難するために使われることもあります。

いくつかの東ヨーロッパ諸国は、消費者のために電力価格を下げ、エネルギーからの膨大な利益を減らす措置を講じたために、ECT下で訴えられています。<sup>11</sup> つまりECTは、エネルギー生産とサービスの公共化、エネルギー所有と制御の民主化、失敗したエネルギー市場民営化の立て直しにとっても障害となっています。<sup>12</sup>

## 6 ECTの下での投資家対国家仲裁システムは、法の支配とは逆行し、国内の法制度を弱体化させます。

司法制度への平等なアクセスの原則に反して、ECTは、社会で最も裕福で最も強力なグループである外国人投資家のみが利用できるシステムを提供しています。ECT下で行われる仲裁には透明性が要求されないため、仲裁はかなり秘密裡に行われ、また仲裁人は訴訟で多額の報酬を得ることができるので、ECTによる紛争仲裁のブームを維持することに関心があるという利益相反に満ちています。<sup>13</sup> 欧州司法裁判所は、2018年のAchmeaの判決を通じて、欧州連合内にEU法と並行して存在する私的な司法手続の合法性に疑問を投げかけました。

さらに、ECTが投資家に与えている特権は、よくいわれるような経済的利益をもたらしてはなりません。実際、再生可能エネルギーへの投資は言うまでもなく、エネルギー貧困を減らすための投資を促進するのにECTが役立ったという証拠はありません。

また、現状では、ECTの近代化プロセスがこれらの欠点(失敗)を修正する可能性は低くなっています。たとえば、近代化の交渉を委任されている欧州連合は、化石燃料投資の保護の終了、投資仲裁またはその他のタイプの投資家対国家の紛争解決をECTから除外することを想定していません。さらに、ECTとパリ協定との両立には、すべてのECT締約国が満場一致で合意する必要がありますが、締約国の多くは化石燃料の主要生産国または貿易国です。また、一部の締約国は、ECTの近代化は全く必要ないとすでに主張しています。<sup>16</sup>

したがって、私たちは以下のことを要求します。

- ECTを近代化するための交渉に入る条件のなかに、化石燃料保護の条項の削除を含めること。
- 投資家対国家の紛争解決の条項を削除すること。
- ECT近代化プロセスが、気候と環境のために、投資家対国家の紛争解決の条項と化石燃料投資保護の条項を撤廃するという合意に至らなかった場合、ECTからの脱退か、共同でECTを撤廃すること。
- ECTの地域的な拡大を直ちに止め、ECTが現状にとどまる限り条約への新たな加盟を許可しないこと。

敬具

## 署名機関 (signatory organizations)

### **International organisations**

350.org  
CEE Bankwatch Network  
Friends of the Earth International (FoEI)  
Greenpeace  
Naturefriends International (NFI)  
Public Services International (PSI)  
SumOfUs

### **European organisations**

ClientEarth  
Climate Action Network (CAN) Europe  
European Environmental Bureau (EEB)  
European Public Service Union (EPSU)  
Friends of the Earth Europe (FoEE)  
The Green 10  
Gastivists Collective  
Seattle to Brussels Network  
We Move Europe

### **Organisations from ECT signatory states**

**Austria:** Anders Handeln; GLOBAL 2000 - Friends of the Earth Austria; Austrian Trade Union Confederation (ÖGB); Attac Austria; KABÖ; AK EUROPA; younion \_ Die Daseinsgewerkschaft; Welthaus Wien; WIDE; Gewerkschaft PROGE; NFI; Welthaus der Diözese Innsbruck; Future Aid - Die Zukunft braucht unsere Hilfe!; Center for Encounter and Active Non-Violence; Netzwerk Soziale Verantwortung; Grüne Bildungswerkstatt NÖ; Gemeinwohlökonomie Steiermark; Vienna Institute for International Development and Cooperation (VIDC); Allianz gerechtes Handeln; DKA Austria

**Belgium:** ACV-CSC; Entraide et Fraternité; 11.11.11; Corporate Europe Observatory (CEO); CNCD - 11.11.11 (Centre National de Coopération au Développement); Mouvement Ouvrier Chrétien; Climat et Justice Sociale (CJS); Kairos Europe (Wallonie/Bruxelles); Broederlijk Delen; Arbeid & Milieu; Grands-Parents pour le Climat; Ecokerk; 11 March Movement; Climate Express; Workers4Climate; Réseau wallon pour l'accès durable à l'énergie (RWAE); ATTAC Wallonie Bruxelles; Food & Water Action Europe; ATB De Natuurvrienden

Bosnia and Herzegovina: Centar za životnu sredinu - Friends of the Earth Bosnia and Herzegovina; Green team Novi Grad; LIR Evolution

**Bulgaria:** Foundation for Environment and Agriculture

**Croatia:** Friends of the Earth Croatia

**Cyprus:** Friends of the Earth Cyprus

Denmark: Global Aktion; NOAH - Friends of the Earth Denmark; 3F BJMF

**Estonia:** Estonian Green Movement

**Finland:** TTIP Network Finland; The Finish Association for Nature Conservation; Maan ystävät ry - Friends of the Earth Finland; 350 Finland; EKOenergy

**France:** Veblen Institute; AITEC; Attac France; Amis de la Terre France; CCFD – Terre Solidaire; ActionAid France - Peuples Solidaires; Sherpa; Confédération paysanne; Collectif Stop TAFTA/CETA; Fondation Nicolas Hulot; Notre affaire à tous; Réseau Foi et Justice Afrique Europe Antenne France; Sciences Citoyennes; Emmaüs International; Fédération Droit Au Logement (DAL); Collectif Causse Méjean - Gaz de Schiste NON !; BLOOM; France Nature Environnement; Alofa Tuvalu; Fondation Copernic; Comité Pauvreté et Politique; Alternatives et Autogestion; Fédération Artisans du Monde; SdN75

**Germany:** Klima-Allianz Deutschland; Forum Umwelt und Entwicklung / German NGO Forum on Environment and Development; WEED - World Economy, Ecology & Development; urgewald; LobbyControl; Attac Germany; PowerShift; BUND - Friends of the Earth Germany; Berliner Wassertisch; FDCL - Center for Research and Documentation Chile-Latin America; Arbeitsgemeinschaft bäuerliche Landwirtschaft (AbL); Campact; FIAN Deutschland; AntiAtomBonn; Andy Gheorghiu Consulting; NaturFreunde Deutschlands – Naturefriends Germany; IPPNW Germany; Aktionsbuendnis Energiewende Heilbronn

**Greece:** Naturefriends Greece; OIKOPOLIS; ECOELEUSIS; PERI.POL.O. of Attica

**Hungary:** WWF Hungary; National Society of Conservationists - Friends of the Earth Hungary; Védjegylet; Éghajlatvédelmi Szövetség (Hungarian Climate Alliance); Hungarian PV and Solar Collector Association - MNNSZ; Ökorégió Alapítvány a Fenn tartható Fejlődésért; Kalocsakörnyéki Környezetvédelmi Egyesület; Fauna Alapítvány; Kalocsakörnyéki Környezetvédelmi Egyesület; Zöld Akció Egyesület (Green Action); ZÖLD KÖR; "Bihar" Kis-sárréti Civilek Társasága; Clean Air Action Group; Csalán Környezet- és Természetvédő Egyesület; Mozgalom az Egészséges Város Környezetéért Civil Társaság; Towards Sustainability Association; BME EZK; Tree of Life Organization; CSEMETE Természet- és Környezetvédelmi Egyesület; GATE Green Club NGO; Ökotárs Alapítvány; Hungarian Society for Environmental Education;

**Ireland:** Irish Environmental Network & Green Foundation Ireland; Extinction Rebellion Ireland; Trócaire; Keep Ireland Fracking Free; FÍS NUA; Climate Change Ireland; ATTAC Ireland; Good Energies Alliance Ireland; Extinction Rebellion Kildare (XRK); Futureproof Clare; Action from Ireland (Afri); Not Here, Not Anywhere; An Taisce (Climate Committee); Feasta: the Foundation for the Economics of Sustainability; An Cláíomh Glas; Social Justice Ireland

**Kazakhstan:** Feminist League

**Luxembourg:** Mouvement Ecologique

**Malta:** Friends of the Earth Malta

**The Netherlands:** The Transnational Institute (TNI); Milieudefensie - Friends of the Earth Netherlands; SOMO; Fossielvrij NL; FNV klimaatwerkgroep; WILPF NL Women's International League for Peace and Freedom; Natuur & Milieu; Both ENDS; Nivon Natuurvrienden

**Norway:** Spire; Attac Norway

**Poland:** Rozruch; Instytut Globalnej Odpowiedzialności (IGO); Fundacja "Rozwój TAK - Odkrywki NIE"; Polish Institute for Human Rights and Business

**Portugal:** TROCA - Plataforma por um Comércio Internacional Justo; ZERO - Association for the Sustainability of the Earth System; SOS Racismo; GasNaturalNao; Palombar - Associação de conservação da Natureza e do Património Rural; Corporations- Zero Tolerance; Fruta Freia; Vamos Salvar o Jamor; GAIA-Environmental Action and Intervention Group

**Romania:** Ecoteca Association; Bankwatch Romania; TERRA Mileniul III; Eco V Natura

**Slovenia:** Focus Association for Sustainable Development; Umanotera

**Spain:** Confederación General del Trabajo (CGT-España); Ecologistas en Acción; Amigos de la Tierra - Friends of the Earth Spain; ATTAC España; Des de Baix; Catalunya No als Tractats de Comerç i Inversió; Entrepueblos-Entrepobles-Entrepobos-Herriarte; Alternative Republicana; Diputada Asamblea de extremadura (Unidas por Extremadura) Extremeños; eco-union; Amigos de la Tierra Comunidad de Madrid; Observatori DESC; Solidaridad Internacional Andalu cis; Unión Sindical Obrera (USO); Ecologistas en Acción de Sanlúcar; Izquierda Unida; Debt Observatory in Globalisation (ODG); NO TTIP-CETA-TISA tARRAGONA-RE-US; 24877360p; Enginyeria Sense Fronteres; Plataforma Ciudadana Zaragoza sin Fractura; Asociación de Cultura Popular Alaborada - Gallur; Plataforma por un Nuevo Modelo Energético; Ong AFRICANDO; Confederación Intersindical; Intersindical Valenciana

**Basque Country:** ELA

**Sweden:** Swedish Society for Nature Conversation; Jordens Vänner - Friends of the Earth Sweden; Skiftet; latinamerikagrupperna

**Switzerland:** Alliance Sud; Public Eye; Pro Natura; Campax; Esperanta Civito / Cité espérantienne

**The UK:** Trade Justice Movement; UNISON - the public service union; Global Justice Now; War on Want; Traidcraft Exchange; Wen (Women's Environmental Network); Global Justice Glasgow; One World Week; Health Poverty Action; Common Weal; PCS;UK, UNISON Scotland; Rethinking Value Chains; Friends of the Earth England, Wales and Northern Ireland; CORE Coalition; One Planet Limited; The SANE Collective; Carbon Tracker Initiative

**Ukraine:** Ecoaction

***Organisations from ECT observer countries***

**Australia:** Australian Fair Trade and Investment Network; National Toxics Network; Climate Justice Union WA

**Canada:** Canadian Union of Public Employees (CUPE); Climate Emergency Institute; Stand.Earth

**The Gambia:** Janjanbureh Uniting Sustainable Tourism and Community Training (JustAct)

**Indonesia:** WALHI - Friends of the Earth Indonesia

**Italy:** Stop TTIP Italia; Fairwatch; Gruppo Italiano Amici della Natura; Fondazione Punto Sud

**Nigeria:** Foundation for the Conservation of the Earth (FOCONE); Automobile, Boatyards, Transport, Equipment and Allied Senior Staff Association

**Senegal:** Lumiere Synergie Developpement; Association Sénégalaise des Amis de la Nature (ASAN)

**Uganda:** Seatini Uganda; Friends with Environment in Development

**USA:** FracDallas; ClimateJobsPDX; Labor Council for Latin American Advancement - NYC; 350 New Orleans

***Organisations from other countries***

**Argentina:** INPADE / FOCO

**El Salvador:** CESTA

**Ghana:** Public Utility Workers Union of TUC-Ghana

**Guinee:** Federation Nationale des Travailleurs de Guinée

**India:** RITES Forum

**Mozambique:** Justiça Ambiental - Friends of the Earth Mozambique

**Thailand:** Manushya Foundation

Thailand/Philippines/India: Focus on the Global South

**Togo:** Les Amis de la Terre Togo – Friends of the Earth Togo; Jeunes volontaires pour l'environnement; Attac Togo

**Uruguay:** REDES - Friends of the Earth Uruguay

## 参考文献 (Endnotes)

- 1 *Rockhopper Italia S.p.A., Rockhopper Mediterranean Ltd, and Rockhopper Exploration Plc v. Italian Republic* (ICSID Case No. ARB/17/14). For more information on the case see: Friends of the Earth Europe and others (2019) *Dirty Oil Attacks on Action on Fossil Fuels: Rockhopper vs Italy, June and the video Dirty Oil vs Beautiful Abruzzo*, 25 June 2019.
- 2 For more information on the case see: Friends of the Earth Europe and others (2019) [Blocking Climate Change Laws with ISDS Threats: Vermilion vs France](#), June.
- 3 Edwin van der Schoot (2019) [Claim om kolenverbod voor Staat](#), *De Telegraaf*, 5 September.
- 4 Kyla Tienhaara and Christian Downie, *Risky Business* (2018) *The Energy Charter Treaty, Renewable Energy and Investor-State Disputes*, *Global Governance*, 24(3), 451-471; Nathalie Bernasconi-Osterwalder and Martin Dietrich Brauch (2019) [Redesigning the Energy Charter Treaty to Advance the Low-Carbon Transition, Transnational Dispute Management](#), February; Yamina Saheb (2019) [The Energy Charter Treaty \(ECT\). Assessing its geopolitical, climate and financial impacts](#), September.
- 5 See [Annex 1](#) to the report 'One Treaty to rule them all', sheet "amounts paid by states". A selectively updated version of this file from September 2019 is available on request.
- 6 In the ECT's non-discrimination clause (art. 10(7)) states promise to accord investments of ECT member states treatment no less favourable than that accorded to investors of the host state or any third state. While no such lawsuits are known to date, this could lead to ECT claims against policy measures that deliberately distinguish between energy investments that advance climate change mitigation objectives and those that hinder their achievement. See: Nathalie Bernasconi-Osterwalder and Martin Dietrich Brauch (2019) [Redesigning the Energy Charter Treaty to Advance the Low-Carbon Transition, Transnational Dispute Management](#), February, 22.
- 7 Sarah Keay-Bright (2019) "Outdated Energy Charter Treaty leaves new economy investments unprotected", *Energy Post*, 6 March; Yamina Saheb (2019) [The Energy Charter Treaty \(ECT\). Assessing its geopolitical, climate and financial impacts](#), September, 8.
- 8 *Vattenfall AB, Vattenfall Europe AG, Vattenfall Europe Generation AG v. Federal Republic of Germany* (ICSID Case No. ARB/09/6). For an analysis of the settlement see: Roda Verheyen (2012) [Briefing Note: The Coal-fired Power Plant Hamburg-Moorburg, ICSID proceedings by Vattenfall under the Energy Charter Treaty and the result for environmental standards](#), 11 April.
- 9 *Vattenfall AB and others v. Federal Republic of Germany* (ICSID Case No. ARB/12/12).
- 10 *World Nuclear News* (2019) *Aura seeks compensation for Swedish uranium ban*, 11 November.
- 11 *AES Summit Generation Limited and AES-Tisza Erömü Kft. v. Republic of Hungary (II)* (ICSID Case No. ARB/07/22); *Electrabel S.A. v. The Republic of Hungary* (ICSID Case No. ARB/07/19); *EVN AG v. Republic of Bulgaria* (ICSID Case No. ARB/13/17); *ENERGO-PRO a.s. v. Republic of Bulgaria* (ICSID Case No. ARB/15/19); *ČEZ, a.s. v. Republic of Bulgaria* (ICSID Case No. ARB/16/24).
- 12 This happened to Albania after it revoked the electricity distribution license of Czech energy giant ČEZ, which filed a €190 million ECT claim in response in 2013. The revocation came after ČEZ had cut off power to the water and sanitation utilities of several Albanian towns, accumulated considerable outstanding debts to the government, and failed to meet other contractual obligations, for example, reducing energy losses and investing in the power grid. Albanians had also complained about high prices, poor service or even an absence of it, as well as power shut-downs. In addition ČEZ had faced fraud investigations by Tirana's prosecution office including for issuing fake fines to both real and fictive customers in order to drive up its alleged losses on paper and get price hikes approved by the Albanian regulators. Albania settled the case in 2014 and agreed to pay €100 million in damages. See: [ČEZ \(Czech Republic\) v. Albania](#).
- 13 For more information on conflicts of interest and other rule of law problems with the ECT, see: Corporate Europe Observatory and Transnational Institute (2018) [One Treaty to Rule them All. The ever-expanding Energy Charter Treaty and the power it gives to corporations to halt the energy transition](#), June, chapter 3.3 and page 72.
- 14 Kyla Tienhaara and Christian Downie, *Risky Business* (2018) *The Energy Charter Treaty, Renewable Energy and Investor-State Disputes*, *Global Governance*, 24(3), 451-471, 451.
- 15 Council of the European Union (2019) [Negotiating Directives for the Modernisation of the Energy Charter Treaty](#), 2 July.
- 16 In its contribution to the modernisation process, Japan, for example, stated "that it is not necessary to amend the current ECT provisions". See: Energy Charter Secretariat (2019) [Policy Options for Modernisation of the ECT](#), 6 October.